

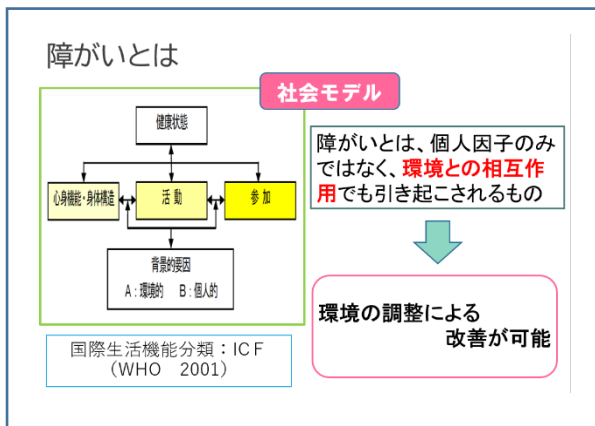
令和6年度 第2回一関清明支援学校「公開講座」報告

令和6年度一関清明支援学校 公開講座「聴覚障がい児への支援～幼少期から高等部卒業まで～」を8月1日(木)に本校舎で開催しました。本校職員が講師を務め、校内、校外合わせて19名の先生方にご参加いただきました。

当日は、「障がいの捉え方」、「きこえについて、聴力レベルの把握、きこえにくさを補う機器について」などの基礎的な内容と、乳幼児期、小中学部、高等部段階における支援と卒業後について、支援のポイントを具体的な指導方法や取り組みの様子を交えながらご紹介しました。また、近年取り上げられている「APD(聴覚情報処理障がい)/LiD(聞き取り困難)」についても触れ、普段かかわっている幼児児童生徒を思い浮かべながら、参加者の方々と考えることができました。

終了後アンケートからは、「成長段階ごとに多角的な視点で講義していただき大変勉強になった」「児童が自己肯定感を育みながら言葉を覚えていけるよう工夫していきたい」「自立活動の指導事例が見たい」「自己理解と障がい認識をどう進めていくか」等の声が聞かれました。

～講義の内容を一部ご紹介します～



「自立活動」での取り組みの一例

- ・聞こえのプロフィール表づくり
 - お互いの「きこえにくさ」を共有→解決方法の共有
- ・職場でのコミュニケーションに関する共通理解
 - ロールプレイを通して、お互いに気づいたことを確認する。
- ・その他
 - 補聴器の管理について
 - オーディオグラムの理解について
 - 体感する音量に対する計測器の測定数値(dB)の確認。

交流籍を活用した交流及び共同学習(中3)

障がいについての自己理解・他者理解につながる。

交流学級に対して自己紹介の際に、自分の障がいについて説明する。

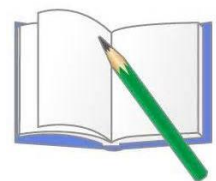
聞き取りに必要な要素

聞き取りに必要な5つの要素
「集中」「記憶」「覚醒」「知識」「推察」

中でも、「集中」と「記憶」の2つが重要

言葉を聞き取って、じつはとても高度な複雑

APD/LiDの人は、「集中して」「記憶する」この作業が苦手だから聞き取れない



問い合わせ先

TEL 0191-33-1600

担当：相談支援部 田村 絵美